



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年4月30日

上場会社名 株式会社遠藤照明 上場取引所 東
 コード番号 6932 URL <https://www.endo-lighting.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 邦彦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 飯島 孝 (TEL) 06-6267-7095
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	35,417	△9.6	1,907	△24.9	1,948	△24.0	1,277	△33.4
2020年3月期	39,171	△1.5	2,541	△7.9	2,562	△20.6	1,917	△18.4

(注) 包括利益 2021年3月期 1,563百万円(△12.5%) 2020年3月期 1,786百万円(53.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	86.43	—	5.6	3.9	5.4
2020年3月期	129.77	—	8.9	5.1	6.5

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 -百万円 2020年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	50,547	23,541	46.6	1,592.88
2020年3月期	50,250	22,310	44.4	1,509.54

(参考) 自己資本 2021年3月期 23,536百万円 2020年3月期 22,305百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	6,069	△2,709	△2,332	9,885
2020年3月期	2,779	△2,250	△2,002	8,797

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00	443	23.1	2.0
2021年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00	221	17.4	1.0
2022年3月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00		11.7	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,200	10.6	900	104.6	800	33.1	500	38.9	33.84
通期	37,300	5.3	2,800	46.8	2,600	33.4	1,900	48.8	128.58

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	14,776,321株	2020年3月期	14,776,321株
② 期末自己株式数	2021年3月期	95株	2020年3月期	95株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	14,776,226株	2020年3月期	14,776,226株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	18,486	△16.4	△609	—	959	323.7	850	596.1
2020年3月期	22,118	△2.2	128	△64.3	226	△61.6	122	△65.2
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期	57.58		—					
2020年3月期	8.27		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円		
2021年3月期	32,552	13,023	40.0	881.41		
2020年3月期	31,407	12,546	39.9	849.13		

(参考) 自己資本 2021年3月期 13,023百万円 2020年3月期 12,546百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手しております情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料については、2021年5月21日（金）に当社ホームページへ掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大とそれに対応する企業活動の自粛や緊急事態宣言の発出により、急速な悪化が続く厳しい状況で始まりました。夏以降は緩やかに経済活動が再開しつつありましたが、より感染力の高い変異株の発生が報告されており、依然として予断を許さない状況が続いております。

また、世界経済においては、一部に回復の兆しがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響によって経済活動は低迷し、米中対立についても改善の兆しが見えず、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、持続可能な社会に向け、高付加価値空間創造企業として、高い省エネ性能に加え、顧客価値を創造する光の質を高めた新製品の開発、製造及び販売に注力して参りました。また、製造部門において継続した品質改善活動及び原価低減活動を行うとともに全社的な販売費及び一般管理費の抑制に努めて参りました。

この結果、当連結会計年度における売上高は、35,417百万円（前連結会計年度比9.6%の減収）となり、営業利益は1,907百万円（前連結会計年度比24.9%の減益）、経常利益は1,948百万円（前連結会計年度比24.0%の減益）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,277百万円（前連結会計年度比33.4%の減益）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

a. 照明器具関連事業

当セグメントにおきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い事業活動が制限される中、業務用LED照明器具分野で業界トップクラスの品揃えを実現し、高いブランドイメージの確立に努めました。

国内市場においては、「LEDZ Pro.4」カタログを発刊し、無線照明コントロールシステム「Smart LEDZ Fit/Fit Plus」及び無線調光調色器具「Tunable LEDZ」の販売促進に注力しました。既存照明器具の取り換え需要に加え、新設の商業施設やオフィス等の大型施設向け需要の取込を強化し、リモート営業等を取り入れて販売活動を推進しました。また、自然の光、カラー演出、色味調整の三役を1台で備えた次世代無線調光調色器具シリーズ「Synca」を発表し、ショールームにおける実機プレゼンテーション及びオンラインイベント等を開催することで新たな光による価値提案を進めました。

海外市場においては、深刻な都市封鎖の影響を受けて経済活動の停滞が発生する中、リモート営業を積極活用し、既存顧客の深耕に努めるとともにアジア向け「sync」製品による高級建築市場の開拓を進めました。

この結果、売上高は29,565百万円（前連結会計年度比11.3%の減収）（セグメント間取引含む。以下同じ。）となり、セグメント利益（営業利益。以下同じ。）は2,058百万円（前連結会計年度比32.8%の減益）となりました。

b. 環境関連事業

当セグメントにおきましては、消費電力削減だけでなく目的に合わせた光環境を整備することにより、快適な空間づくりについての総合的な提案活動を強化しました。また、コロナ禍でのオンライン提案による取り組みを推進し、食品スーパーを始めとする流通店舗を中心とした販売活動を展開しました。当社グループの提供する消費電力削減効果の高い高効率LED照明器具及び顧客の商品・サービスにあわせた空間づくりが可能な制御機器が高い評価を得てレンタル契約実績及び機器販売実績ともに前連結会計年度比で増加いたしました。

この結果、売上高は8,474百万円（前連結会計年度比9.4%の増収）となり、セグメント利益は655百万円（前連結会計年度比67.0%の増益）となりました。

c. インテリア家具事業

当セグメントにおきましては、建築士及びインテリアデザイナー等へ向けて新たに発刊した総合カタログ「AbitaStyle 11」を配布し、積極的な販売促進活動を展開するとともに、照明器具関連事業との協業による新規顧客の開拓に努めました。加えて、コロナ渦の中、オフィスにおける環境や働き方改革への需要の高まりを受けて、オフィス関連のディーラー及びサプライヤー向けの営業強化及び商品開発を推進しました。

また、市場の落ち込みの影響を受けながらも物流網の拡大を図るとともに配送費用を削減し、費用対効果の検証徹底によるコストダウン等に努めました。

この結果、売上高は1,085百万円（前連結会計年度比34.0%の減収）となり、セグメント損失は35百万円（前連結会計年度は53百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は、50,547百万円(前連結会計年度末比296百万円の増加)となりました。

主な要因は、「現金及び預金」の増加1,266百万円及び「有形固定資産」の減少868百万円によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債は、27,005百万円(前連結会計年度末比934百万円の減少)となりました。

主な要因は、「支払手形及び買掛金」の増加54百万円、「未払金」の増加313百万円、「その他流動負債(未払費用等)」の増加654百万円及び「有利子負債」の減少1,976百万円によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は、23,541百万円(前連結会計年度末比1,231百万円の増加)となりました。

主な要因は、「親会社株主に帰属する当期純利益」の計上1,277百万円、「為替換算調整勘定」の増加261百万円及び「配当金の支払い」による減少332百万円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、9,885百万円（前連結会計年度は8,797百万円）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、6,069百万円の増加（前連結会計年度は2,779百万円の増加）となりました。

主な要因は、増加要因として「税金等調整前当期純利益」1,931百万円及び「減価償却費」3,148百万円、減少要因として「たな卸資産の減少」による増加525百万円、「仕入債務の増加」37百万円及び「法人税等の支払額」844百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,709百万円の減少（前連結会計年度は2,250百万円の減少）となりました。

主な要因は、「有形固定資産の取得による支出」2,438百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,332百万円の減少（前連結会計年度は2,002百万円の減少）となりました。

主な要因は、増加要因として「長期借入れによる収入」5,000百万円、減少要因として「長期借入金の返済による支出」5,326百万円及び「配当金の支払額」332百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響がある程度長期化することが予想される中、省エネ効果の高いLED照明器具への需要は、引き続き堅調に推移するものと予想されますが、異業種からの新規参入を含めて、LED照明器具をめぐる市場競争は、今後とも激烈に展開されていくことが予想されます。

このような情勢の下で、当社グループは、自然の光、カラー演出、色味調整の三役を1台で備えた次世代無線調光調色器具シリーズ「Synca」に代表される市場訴求力のある新製品に注力するとともに、引き続き原価管理・経費管理の徹底を図り、安定した事業収益基盤の構築を図ります。

国内市場においては、独自性のあるLED照明器具の開発を積極的に推進し、商業施設向け照明器具販売の拡大はもとより、照明市場全般の照明器具需要に対応できる事業体制構築を引き続き強力に推進して参ります。海外においては、各国市場で適切な市場ポジションの確保に向けて、積極的に経営資源を投入し事業基盤を強化いたします。

環境関連事業では、引き続き厳しい市場環境のもと照明周辺分野及びネットワークとの連携による商品開発を進めるとともに、顧客別のソリューション提案活動を強化し、流通店舗向け市場の更なる開発を進めます。

インテリア家具事業では、商業施設案件の獲得に注力するとともに、オフィスなどの新規分野への展開を積極的にすすめ、新たな市場の開拓に努めます。

2022年3月期におきましては、売上高373億円（対前期比5.3%の増収）、営業利益28億円（対前期比46.8%の増益）、経常利益26億円（対前期比33.4%の増益）、親会社株主に帰属する当期純利益19億円（対前期比48.8%の増益）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,797	10,063
受取手形及び売掛金	6,250	6,932
商品及び製品	8,595	8,579
仕掛品	188	120
原材料及び貯蔵品	1,193	866
その他	2,428	2,128
貸倒引当金	△112	△195
流動資産合計	27,341	28,495
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,980	8,951
減価償却累計額	△3,891	△4,108
建物及び構築物(純額)	5,089	4,843
機械装置及び運搬具	2,877	3,093
減価償却累計額	△2,363	△2,543
機械装置及び運搬具(純額)	513	550
レンタル資産	13,798	14,193
減価償却累計額	△7,358	△8,088
レンタル資産(純額)	6,439	6,105
土地	3,498	3,458
リース資産	963	1,008
減価償却累計額	△573	△713
リース資産(純額)	390	294
建設仮勘定	471	267
その他	3,107	3,245
減価償却累計額	△2,677	△2,801
その他(純額)	429	443
有形固定資産合計	16,832	15,963
無形固定資産		
ソフトウェア	342	367
のれん	2,633	2,461
その他	87	82
無形固定資産合計	3,064	2,912
投資その他の資産		
投資有価証券	153	177
関係会社株式	21	22
退職給付に係る資産	22	67
繰延税金資産	938	980
その他	1,957	2,058
貸倒引当金	△81	△128
投資その他の資産合計	3,012	3,176
固定資産合計	22,909	22,052
資産合計	50,250	50,547

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,655	2,710
短期借入金	3,250	1,799
1年内償還予定の社債	70	—
1年内返済予定の長期借入金	4,910	5,123
リース債務	179	189
未払金	1,011	1,325
未払法人税等	486	428
賞与引当金	402	349
役員賞与引当金	79	200
製品保証引当金	570	783
その他	530	1,185
流動負債合計	14,148	14,096
固定負債		
長期借入金	11,107	10,568
リース債務	348	207
繰延税金負債	902	796
役員退職慰労引当金	412	445
退職給付に係る負債	170	198
その他	851	692
固定負債合計	13,791	12,908
負債合計	27,940	27,005
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,155	5,155
資本剰余金	5,539	5,539
利益剰余金	11,848	12,793
自己株式	△0	△0
株主資本合計	22,543	23,488
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	38
繰延ヘッジ損益	176	143
為替換算調整勘定	△344	△83
退職給付に係る調整累計額	△74	△50
その他の包括利益累計額合計	△238	48
非支配株主持分	5	5
純資産合計	22,310	23,541
負債純資産合計	50,250	50,547

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	39,171	35,417
売上原価	24,700	22,158
売上総利益	14,471	13,259
販売費及び一般管理費	11,930	11,351
営業利益	2,541	1,907
営業外収益		
受取利息及び配当金	104	120
受取賃貸料	98	124
為替差益	161	62
助成金収入	—	65
その他	103	55
営業外収益合計	468	427
営業外費用		
支払利息	164	142
売上割引	176	137
賃貸収入原価	43	40
その他	61	65
営業外費用合計	446	386
経常利益	2,562	1,948
特別利益		
固定資産売却益	1	6
特別利益合計	1	6
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
投資有価証券評価損	—	24
特別損失合計	0	24
税金等調整前当期純利益	2,563	1,931
法人税、住民税及び事業税	748	796
法人税等調整額	△102	△141
法人税等合計	646	654
当期純利益	1,917	1,276
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する当期純利益	1,917	1,277

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	1,917	1,276
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21	34
繰延ヘッジ損益	182	△33
為替換算調整勘定	△245	261
退職給付に係る調整額	△46	23
その他の包括利益合計	△131	287
包括利益	1,786	1,563
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,786	1,563
非支配株主に係る包括利益	△0	△0

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,155	5,539	10,374	△0	21,069
当期変動額					
剰余金の配当			△443		△443
親会社株主に帰属する当期純利益			1,917		1,917
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,474	—	1,474
当期末残高	5,155	5,539	11,848	△0	22,543

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	25	△5	△100	△27	△107	5	20,967
当期変動額							
剰余金の配当							△443
親会社株主に帰属する当期純利益							1,917
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△21	182	△244	△46	△130	△0	△131
当期変動額合計	△21	182	△244	△46	△130	△0	1,343
当期末残高	4	176	△344	△74	△238	5	22,310

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,155	5,539	11,848	△0	22,543
当期変動額					
剰余金の配当			△332		△332
親会社株主に帰属する当期純利益			1,277		1,277
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	944	—	944
当期末残高	5,155	5,539	12,793	△0	23,488

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	4	176	△344	△74	△238	5	22,310
当期変動額							
剰余金の配当							△332
親会社株主に帰属する当期純利益							1,277
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	34	△33	261	23	286	△0	286
当期変動額合計	34	△33	261	23	286	△0	1,231
当期末残高	38	143	△83	△50	48	5	23,541

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,563	1,931
減価償却費	3,138	3,148
のれん償却額	174	171
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8	124
賞与引当金の増減額(△は減少)	△110	△52
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	6	115
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△75	212
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△49	33
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	19	△44
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△53	46
受取利息及び受取配当金	△104	△120
支払利息	164	142
固定資産売却損益(△は益)	7	△6
売上債権の増減額(△は増加)	△96	△724
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,667	525
仕入債務の増減額(△は減少)	△295	37
未払金の増減額(△は減少)	△32	530
その他	△305	863
小計	3,275	6,932
利息及び配当金の受取額	104	120
利息の支払額	△165	△139
法人税等の支払額	△434	△844
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,779	6,069
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,150	△2,438
有形固定資産の売却による収入	5	37
無形固定資産の取得による支出	△161	△160
定期預金の預入による支出	—	△171
その他	55	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,250	△2,709
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50	△1,450
長期借入れによる収入	4,200	5,000
長期借入金の返済による支出	△5,469	△5,326
社債の償還による支出	△140	△70
セール・アンド・リースバックによる収入	103	37
リース債務の返済による支出	△201	△191
配当金の支払額	△443	△332
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,002	△2,332
現金及び現金同等物に係る換算差額	△146	60
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,619	1,088
現金及び現金同等物の期首残高	10,416	8,797
現金及び現金同等物の期末残高	8,797	9,885

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別の事業部門を置き、各事業部門は、取り扱う製品・サービスについて国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部門を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「照明器具関連事業」、「環境関連事業」、「インテリア家具事業」の3つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「照明器具関連事業」は、主に照明器具の製造及び販売をしております。

「環境関連事業」は、主に省エネ機器の販売及び、照明器具、省エネ機器のレンタルをしております。

「インテリア家具事業」は、主にインテリア家具、インテリア用品の販売をしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表の作成上採用した方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は、セグメント間で合意された取引価格設定基準に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	29,887	7,683	1,600	39,171	39,171
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,441	62	43	3,547	3,547
計	33,328	7,746	1,643	42,719	42,719
セグメント利益	3,063	392	53	3,509	3,509
セグメント資産	27,886	11,311	1,342	40,540	40,540
その他の項目					
減価償却費	693	2,814	9	3,517	3,517
減損損失	—	—	—	—	—
のれんの償却額	174	—	—	174	174
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	387	2,313	4	2,705	2,705

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	25,904	8,427	1,085	35,417	35,417
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,660	47	—	3,707	3,707
計	29,565	8,474	1,085	39,125	39,125
セグメント利益又は損失(△)	2,058	655	△35	2,677	2,677
セグメント資産	27,375	11,166	1,169	39,712	39,712
その他の項目					
減価償却費	672	2,887	10	3,569	3,569
減損損失	—	—	—	—	—
のれんの償却額	171	—	—	171	171
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	534	2,320	2	2,857	2,857

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	42,719	39,125
セグメント間取引消去	△3,547	△3,707
連結財務諸表の売上高	39,171	35,417

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,509	2,677
セグメント間取引消去	65	77
未実現利益の調整額	85	127
全社費用(注)	△1,118	△974
連結財務諸表の営業利益	2,541	1,907

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

(単位:百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	40,540	39,712
セグメント間取引消去	△1,729	△3,013
未実現利益の調整額	△1,774	△1,652
全社資産(注)	13,214	15,501
連結財務諸表の資産合計	50,250	50,547

(注) 全社資産は、報告セグメントに帰属しない現金及び預金、土地等であります。

(単位:百万円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額(注)		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	3,517	3,569	△422	△462	3,095	3,107
減損損失	—	—	—	—	—	—
のれんの償却額	174	171	—	—	174	171
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,705	2,857	△497	△551	2,207	2,305

(注) 調整額は、次のとおりであります。

- (1) 減価償却費の調整額には、セグメント間取引に係る未実現利益の消去(前連結会計年度△550百万円、当連結会計年度△569百万円)、報告セグメントに帰属しない全社資産における減価償却費(前連結会計年度128百万円、当連結会計年度107百万円)が含まれております。
- (2) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額には、セグメント間取引に係る未実現利益の消去(前連結会計年度△531百万円、当連結会計年度△572百万円)、報告セグメントに帰属しない全社資産における投資額(前連結会計年度33百万円、当連結会計年度21百万円)が含まれております。

5 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計		
当期末残高	2,633	—	—	2,633	—	2,633

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計		
当期末残高	2,461	—	—	2,461	—	2,461

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,509円54銭	1,592円88銭
1株当たり当期純利益金額	129円77銭	86円43銭

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,917	1,277
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,917	1,277
普通株式の期中平均株式数(千株)	14,776	14,776

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	22,310	23,541
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	5	5
(うち非支配株主持分)(百万円)	(5)	(5)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	22,305	23,536
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(千株)	14,776	14,776

(重要な後発事象)

該当事項はありません。